令和4年度事業報告

当シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」のもと地域に密着した就業を確保し、高齢者に就業機会を提供するとともに、長年培ってきた豊かな経験と知識・技能を充分発揮し、就業を通じて会員の健康と福祉の向上に寄与し、地域社会へ貢献して参りました。

栗原市の人口は減少傾向が続き、少子・高齢化社会となり、高齢化率も年々増加傾向にあります。豊かな経験と知恵を持っている高齢者が働くことができる環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性が指摘されており、シルバー人材センターへの期待は一層大きなものになっております。センターはその期待に応えるべく、魅力ある組織として取り組みました。

年度当初は新型コロナウイルス感染症が第6派のピークを迎えた時期で、本年度も人々の生活に大きな影響を及ぼし、生活スタイルを一変させ続けました。年度末には第8派もピークアウトしたようには見えましたが、収束には至らず、当センターの業務運営にも大きく影響しました。感染症のため多くの事業を中止、縮小を余儀なくされましたが、配分金改定により契約金額は前年度を上回る結果となりました。

そうした中、会員にも感染者が発生しましたので、会員には引き続き基本的な感染予防の実施を「安全だより」等で周知し、自己のみならず周囲への感染も回避するよう呼びかけました。

派遣事業については、年次有給休暇の確実な取得や通勤手当の支給等、会員の公正な待遇が確保されるよう努めました。

また、近隣市町より低かった手数料率は、各事業所から理解を得られ、段階的に引き上げることができました。

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであり、重篤事故など傷害事故の撲滅を図ることが肝要です。

健康で安全に働くため安全就業基準を定め、会員が共通の安全意識・安全就業への意識を持ち続け、無事故で1日の就業を終えるため、事故撲滅を掲げ無事故チャレンジ運動の継続実施、安全パトロールの強化、事故を未然に防ぐため講習会の開催、草刈作業安全就業ガイドブック等を配布し、会員へ充実した活動を継続するよう周知しました。

1. 会員数の拡大と就業の拡充強化

会員数の拡大と就業の拡充はどちらも事業運営の基本であり、役職員並びに会員が常に情報を共有し第2次・中長期計画の年度目標に向けて事業を推進しなければならないところでしたが、コロナ禍のため令和4年度の会員数の目標を560名としました。

「一人一会員の勧誘」の入会促進の実施や、入会説明会の開催、女性班による展示会や小物作りセミナーの開催のチラシを作成し、新聞折り込みにより市民に配布し、入会者の加入促進を図りました。20名を超える説明会の参加者があり、参加者のほとんどが年度末でもあったため仮入会されました。年度末の会員数は505名であり、前年度より14名の減員となりました。

入会者の平均年齢は70.3歳で、少子高齢化による社会情勢の変化に伴い、労働人口の減少や定年延長等により入会者の年齢が高くなってきたものと思われまます。(入会者49名、退会者63名)

	契約件数	就業延人員	契約金額
請負事業	5, 114件	40, 760人	238, 889千円
派遣事業	28件	6, 859人	35, 852千円
合計	5, 142件	47, 619人	274, 741千円
(令和3年度実績)	5, 139件	49, 179人	273, 429千円)

契約件数は3件増とほぼ前年度並ですが、就業延人員は、請負・派遣共に減少しました。これは会員数の減と新型コロナウイルス感染症による発注者側の事業の縮小や休止、管理業務等の発注の減少によるものです。契約金額は、前年度よりやや増額となりましたが、公共の就業依頼が増えたことと、最低賃金の改定により、配分金もそれを下回らない額としたためです。

現在、一般作業の受注が多い状況ですが、就業できる会員の減少や、高齢化により今後も継続できるかが課題です。会員の希望職種や新たな就業先を調査研究しながら就業拡大の推進をしていかなければならないと考えております。

2. 安全就業の推進

会員が就業する上で、安全で安心なシルバー事業の展開を図ることが重要ですが、保険適用の事故は26件でした。内訳はハチ・虫刺されが14件、熱中症が3件、作業中の転倒や機械器具等でのケガが5件、物損が4件発生と昨年度より増加しており、特に蜂刺されが倍以上増加しました。

特に事故の多い除草作業を行う会員に対し、草刈安全作業及び操作説明会を開催し、「草刈作業安全就業ガイドブック」の配布や、毎月発行している「安全だより」で、注意喚起や安全就業の徹底を呼びかけ、防護ネットの貸出も積極的に行いました。

また、安全適正就業委員会委員による安全パトロールを実施し、作業中の会員に対して、作業に適した服装や装備の点検、作業前の現場確認等、常に安全就業の意識を持ち続けるよう指導しました。

なお、一人ひとりが自覚を持って、事故の無い明るく楽しい就業を心がけていただくため、「安全就業推進大会」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため今年度も中止いたしました。

3. 健全な財政運営

受託事業収益は配分金の改定等により238,889千円（前年比102.1%）と増加、派遣事業手数料は、契約金額は減額となったものの、手数料の改定により約490千円と増額となり、経常収益計は270,691千円（前年比102.1%）となりました。経常費用計は、270,004千円（前年比102.0%）となり、当期一般正味財産額は687千円の増加となりました。コロナ禍において事業の中止や縮小等がありましたが、配分金や派遣手数料の改定により前年度を若干上回る増加となっております。

派遣事業は、毎月のように安定した就業が求められることや、『高齢者活用・現役世代雇用サポート事業』という補助事業の活用などがあり、企業及び各種事業所の就業開拓が求められております。派遣事業手数料は、増加する経費を賄うため引き上げたものです。

コロナ禍のため、事業所の訪問や会員拡大の説明会等縮小しましたが、創意と工夫により支出経費を費目毎に削減を図り、健全な財政基盤の確立を目指して参りました。

4. 就業技能の向上への会員育成

専門的な技術習得のための、植木剪定講習会や清掃スタッフ技術講習会は、同職種を希望する新入会員が少なかったため中止しました。

5. 安全就業にかかる講習会

「派遣事業」は労働基準法が適用され、事業主の責務として運転免許取得者の法令講習が必要となるため、運転適正、運転技能、運転知識の教育訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、同様に、安全運転講習会、救急救命講習会、安全衛生教育訓練も中止しました。

除草班員を対象に、草刈機械の安全操作と機械器具の点検及び事故防止を目的に草刈機械安全操作講習会と、世話人会議を開催し、年度内の事故発生状況の報告と、安全適正就業委員会での安全対策内容等について周知しました。

また、植木班においては、安全就業講習会を実施し、安全就業のチェックポイントの講義や、実技を交えての安全対策の実演を行いました。

6. 就業先のアンケート調査

シルバー人材センターの就業状況において、企業・事業所及び個人依頼者の評価や意見・要望等を調査することにより、健全な事業運営や就業拡大の推進を図るため、毎年利用者へのアンケート調査を実施しております。

今回は、空き家の作業を依頼された発注者を対象に、アンケート調査を実施しました。

調査対象件数は100件で内68件の回答でした。

依頼された仕事の内容については、除草作業が65%、植木剪定が18%、その他農作業等でした。

「シルバー人材センターを何で知りましたか」については、友人・知人の紹介で知ったが51%と多く、広報誌や就業している会員を見て知った等の回答がありました。

「仕事の仕上がり度」は85%が満足、会員の対応については91%が良いとの評価をいただきました。

発注者の「作業内容」は、除草や植木剪定等の外作業ですが、多くの方々から会員の「作業内容や対応」について、丁寧に要望どおりの作業をして頂いたと評価され、次回も依頼したいという意見がありました。

また、「空き家、空き地等の管理」について、定期的な見回りや除草作業を依頼したいとの意見もあることから、市内でも増え続ける空き家・空き地の管理について、シルバー会員が出来る就業方法を今後検討し、新たな就業に繋がりたいと思います。

これからも、常に安全就業の意識を持ち続け、依頼者に信頼される作業を心がけるよう会員に周知して参ります。